

笑顔

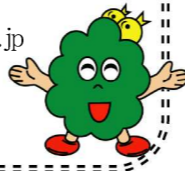
第19号

平成24年4月

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山
熊本市中央区保田窪1丁目1-33 第2大田ビル1階
電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

E-mail:sasaeriaobiya@kyouninkai.jp

http://www.kyouninkai.jp/obiya/



新しい「地域包括支援センター」の誕生です！

熊本市が政令指定都市となり、地域包括支援センターも新しく再編されました。正式名は、「熊本市中央6地域包括支援センター」、通称名は「熊本市高齢者支援センターささえりあ帯山」となります。皆様は「ささえりあ帯山」と呼んでください。

担当校区は託麻原、帯山、帯山西校区となります。事務所は保田窪1丁目に移転しました。保田窪の交差点より北（産業道路側）へ約150メートル程度行った左手にございます。職員数も総勢9名体制です。私ども、地域の皆様方のお力を得ながら、職員一同頑張っていくことを決意しております。どうぞよろしくお願い致します。（センター長 那須 久史）



●後列左より
小島 康江：「水前寺生まれ、帯山育ち。校区の皆様にも少しでも貢献できればと思っております」
切通 悠貴：「暮らしやすい地域をつくるお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いいたします」
上村 佳子：「地域のサロン活動や介護予防のお手伝いをさせていただきたいと思っております」
福山登紀子：「地域で安心して暮らせるようにお手伝いしていきます。よろしくお願いいたします」
山下久美子：「4月から事務を担当しています。皆様のお役に立てるよう頑張ります」
牛島太一郎：「認知症地域支援推進員として熊本市内全域を担当しています。よろしくお願いいたします」

●前列左より
森 綾子：「1年ぶりに復帰して参りました森です！またよろしくお願いいたします」
藤田 紀子：「ささえりあ帯山に名前も変わり、時代の流れを感じます。これからも、心機一転頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします」



三月十六日に、帯山西地域コミュニティセンターにて『円滑な相続を実現するために』と題して、司法書士法人 小松事務所 小松徹彦氏より講話して頂きました。遺産相続人の順位、相続分の分割や方法について。相続時、紛争にならないためにはどうするか？事例を通して分かりやすく説明して頂き、学びや知識を深めることができました。

「家族介護者教室」開催中！

新事務所の紹介



『熊本市中央四地域包括支援センターやすらぎの森』は、『熊本市高齢者支援センターささえりあ帯山』に名称を改め、事務所を保田窪に移転いたしました。

熊本市営バスの保田窪入口の近くで、三階建てのビルの一階にあります。新体制で『介護保険サービスの調整』や『介護予防の推進』、『誰もが住みやすい地域づくり』『権利擁護』などについて取り組んでまいります。皆様お気軽に相談に来ていただけます。センターを目指して是非、お立ち寄り下さい。



★編集後記★
新年度がスタートし、熊本市は政令指定都市に生まれ変わりました。当センターも保田窪の地域に縁あって移転して参りました。新人職員も加わり、新たな気持ちでスタートいたします。また広報誌の『笑顔』新聞も年四回、引き続き発行していきますのでご愛読頂きたいと思っております。託麻原校区、帯山校区、帯山西校区の皆様、新しくなった当センターをよろしくお願い致します。是非遊びに来て下さいね。

上村 佳子

託麻原校区徘徊者搜索・声かけ模擬訓練



熊本市で初！！

3月18日（日）に託麻原校区にて、託麻原社協主催により徘徊者搜索声かけ模擬訓練が実施されました。当日は大雨であったにもかかわらず、本部とした託麻原小学校に校区から約150名、校区外からも同じく150名近くの方に参加していただきました。最初に訓練の主旨説明や、民生委員と福祉推進委員による認知症の方に対する声かけの方法として、“好ましい例”と、“好ましくない例”を寸劇にて紹介してもらいました。次に8か所のエリアに分かれ、待機している認知症役の方への声かけ訓練が始まりました。声かけをしてくれた方には「ありがとうカード」をお渡ししました。ほとんどの方が、1枚以上のカードを買って帰って来られていました。最後の反省会にて、徘徊役をされた方から「皆さんやさしく笑顔で声をかけてくれたのでよかった、しかし、数人で取り囲むのはよくない」などの意見も出ていました。認知症になっても安心して暮らせる街づくりに今後も取り組んでいきたいと思ひます。



認知症サポーターリーダー養成講座

第6回（2月21日）最終回

●前半は、山鹿市介護保険課 佐藤 アキ氏より、「認知症の人を支える地域づくりのために～認知症サポーターリーダーとして～」をテーマに、認知症の方の気持ちを理解し、どんな手助けが必要かなどについて話を頂きました。



●後半は、「皆さんができることは何でしょう？」をテーマに、グループワークをしました。自分にできる事として「外出先で会った人みんなに笑顔で挨拶する」といった意見も聞かれました。



●最後に、講座を4回以上参加された方に認定証を授与いたしました。



託麻原校区認知症支援フォーラム

1月19日（木）に熊本学園大学・14号館大ホールにて託麻原校区認知症支援フォーラムが開催されました（託麻原校区社協主催）。雨天の中、200名近くの方が参加され、認知症サポーター養成講座を兼ねた3部構成で行われました。第1部は、当センター職員の牛島が認知症の症状や対応の仕方について講話。第2部は、山鹿市のNP〇法人 せからしか劇団の登場により、山鹿市が独自で作っている徘徊SOSネットワークの紹介や、認知症の方への声掛け方法などをユーモアを交えながら、講話と寸劇（にわか）により説明して頂きました。第3部は、公益法人 認知症の人と家族の会 熊本県支部の堀本 平氏による体験談で、認知症の奥様との生活を赤裸々に語っていただきました。実際に介護体験をされた生の声であったので、みなさん真剣に聞いておられました。今回のフォーラムは、託麻原校区の自治会や老人クラブ、社会福祉協議



会、民生委員、福祉推進委員、介護保険事業所、熊本学園大学や熊本市社協、中央保健福祉センター（現、中央区役所）等のたくさんの方々と協力して協働で開催されました。今後も地域でたくさんの方々と一緒になって、「認知症になっても住みやすい地域」となりますよう、私たちも貢献できればと思います。何卒宜しくお願い致します。